

A blank of one hundred

YUSHI DANGAMI

2019.10.12.sat - 2020.1.19.sun



生が不連続であることへの祝祭を絵画で顕そうとする。
その儚い幻覚の作用は人間の祝福であるらしかった。
贈与のコミュニケーションが生活の空間にもたらす魔法。

百の空白。天体の音楽は鳴り止まない。絵を描くか。膝をついて祈る。

新人作家を支援する企画展

Artists Stories『Focus』vol.3

團上 祐志

A blank of one hundred

小豆島・二十四の瞳映画村内のGallery KUROgOでは、4月よりスタートした新人作家を支援する企画展 Artists Stories『Focus』において、第三弾となるvol.3として2019年10月12日(土)から2020年1月19日(日)まで、團上祐志『A blank of one hundred』を開催いたします。

團上祐志は肖像などの絵画表現を軸に置きながら、立体作品やインスタレーションなどを展開し、国内外で活動するアーティストです。また、自身が立ち上げた会社の事業として取り組んでいる空き家再生のアートプロジェクトや、豪雨で浸水した木材を利用した家具製作を通じた復興支援など、その活動は多岐に渡ります。表現や活動からは一貫して人の死や時の再編集をテーマに掲げています。

本展では、映画『二十四の瞳』の舞台となった岬の分教場での様子や小豆島の風俗や生活を捉えた古写真から、遺族へのインタビューから伺った当時の文化や風習、そのまなざしを再構成してアートに昇華し、未来に繋げていくシリーズを展開。その他にも、日本の原風景からインスパイアされたドローイングや作家本人の詩をインスタレーションとして展示し、映像作家とのコラボレーションした自身初となる映像作品もご覧になれます。また、事業の一つとして愛媛県大洲市でのアートプロジェクトの取り組みも発表いたします。

歴史に息づく人々と私たち鑑賞者のまなざしを交差させ、改めて現在や未来について考える機会を与えてくれる團上祐志の作品をご高覧ください。

團上 祐志

YUSHI DANGAMI

Profile: 1995年生まれ、愛媛県松山市出身。

武蔵野美術大学油絵科油絵専攻。在学中から国内外で展示が開催される。絵画表現を軸に置き、肖像、非対象、立体作品等 交換と振幅をテーマに境界としての絵画の中立性と可能性を模索する。ロサンゼルス、ニューヨーク、デンバーのギャラリーでの展示と活動の幅を広げている。2018年 株式会社STILL LIFEを立ち上げ、愛媛県大洲市にて歴史・芸術的背景を持つ古民家の維持管理、修復やアーティストインレジデンス活動などのプラットフォーム事業に従事。同年の豪雨で浸水した木材を利用した家具製作など、多岐に渡る活動中。



会期 2019年10月12日(土)~2020年1月19日(日)

会場 二十四の瞳映画村内

Gallery KUROgO

<http://24hitomi.or.jp/kurogo/>



Photo by Riku Hoshika 真空“重力と恩寵” 銀座風月堂



Photo by 沙羅ジュースター キャンバスとキャラバン アースワーク

二十四の瞳映画村

〒761-4424 香川県小豆郡小豆島町田浦甲931 Tel. 0879-82-2455 AM9:00 ~ PM5:00 <http://24hitomi.or.jp/>



瀬戸内国際芸術祭 2019

春 (ふれあう春) **終了**
4月26日(金)~5月26日(日)

夏 (あつまる夏) **終了**
7月19日(金)~8月25日(日)

秋 (ひろがる秋)
9月28日(土)~11月4日(月)

<https://setouchi-artfest.jp>

